



中村真由美さん
NPO法人アクロス五島のガイド部会
部長。自然散策から史跡めぐりまでさま
ざまなコースを案内する五島のスペシャ
リスト。長年にわたりお城の石垣を研究
し、最近本を出版。五島の魅力をいろ
いろな形で発信している。

福

江港から船で二十分。五島列島で
三番目の大きさを誇る久賀島へと
渡った。この島を案内してくれるのは
「五島観光歴史資料館」で二十五年にわ
たり学芸員を務めたという中村真由美さ
ん。まずは港からほど近い浜脇教会へと
向かった。一九三一（昭和六）年に建て
られた五島初の鉄筋コンクリート造りの
教会は威風堂々とした外観ながら中へ入
ると、淡いピンクが印象的でやわらかな
雰囲気。「久賀島に立つ教会はヨーロッ
パの教会に比べると小さいですね。し
かしこれらの教会は二百六十年の間、
迫害を受けた後に建てられたものです。
キリスト教が認められた後とはいって
も、当時はまだまだ世間の理解も得られ
ず、精神的にも経済的にも苦しい時代で
した。そうした時代にこれだけのものを
建てた。それは素晴らしいことだと思
います」。力強く建つ白亜の教会に人々は
どれほど歓喜したことだろう。当時とし
ては近代的でモダンな佇まいは、信徒た

ちの大きな誇りだったに違いない。

実は鉄筋コンクリートの教会が建つ
前、この場所には木造の教会が立ってい
たという。一八八一（明治十四）年に建
てられたその教会は、禁教の高札が撤廃
されたわずか八年後に建てられたにもか
かわらず、本格的な教会建築様式であっ
た。「最初に建てられた教会は木造のた
め潮風にさらされて傷んでしまい、現在
の鉄筋コンクリート造りの教会へと建て
直すことが決まりました。このとき五輪
地区の信徒さんたちが『五輪の地にも教
会を』と申し出て、壊されるはずだった
木造の教会を移築したんです。それが現
在の旧五輪教会堂です。つまり旧五輪教
会堂は初代の浜脇教会なんですよ」。

久賀島の人口は約三百名。そのうちカ
トリック信徒の数は約五十名。現在、そ
のわずかな人数で三つの教会を守ってい
るという。「昭和三十年くらいには島の
人口は四千人もいました。だから浜脇教
会が出来たときも、たくさん信徒さん
がいらっしやっただけです。しかし過疎化
が進み、教会を維持するのは大変になっ
てきました」と中村さん。高齢化も進
み、少ない人手で教会を管理するのは困
難なことだろう。それでも教会の敷地には
季節の花々が植えられ、信仰の灯が守
られていることを物語っていた。



変わらぬ 信仰を伝える 白亜の教会

島を楽しむ
3つの旅
久賀島コース
教会
めぐりの旅
2

